

埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 25 年度 8 月 フィンドレーでの新生活のはじまり

はじめに

平成 25 年度、埼玉県機械工学系奨学生の奥村洋平です。

この度は、このようなとても貴重な学びの場を提供して下さった埼玉県をはじめ、フィンドレー大学、Nissin Brake Ohio、関係者の方々にとても感謝しています。また留学に行くことを承諾してくれた、所属大学関係者、並びに家族には厚く御礼申し上げます。多くの方々から応援していただいていることを自覚し、1 つも後悔することのない留学生活を送りたいと思います。本留学の目標は、「使える英語を身につける！」です。NBO でのインターンシップでは、専門用語を含めた仕事で使われる英語に直接触れることができます。一方大学では、正しい英語、より高度な英語に触れることができます。NBO と大学の両者から 1 つでも多くのことを吸収できるように努力していきたいと思います。

フィンドレーでの生活

8 月 11 日にフィンドレーに到着し、さっそく新生活が始まりました。機械工学系奨学生の皆川君と私は、大学キャンパスの近くのアパートに生活しております。フィンドレーは、とても自然豊かな環境で、自宅前の芝生や大学キャンパス内で頻繁にリスやうさぎ、ホタルなどを見かけます。日中の最高気温も 25、26 度程度で朝や夜は寒さを感じることがあります。日本と異なる環境で、新生活の開始とともに風邪をひいてしまいましたが、皆川君の気遣いもあり、すぐに治すことができました。これから徐々に心身共に適応させていきたいと思っています。



新生活をはじめたアパートにて私(左)と皆川君(右)

フィンドレー大学(英語集中コース IELP : Intensive English Language Program)

平日の月曜日、水曜日、金曜日はフィンドレー大学で Intensive English Language Program の授業を受講しております。このコースにはサウジアラビア人、中国人、モンゴル人、ネパール人、ブラジル人、韓国人、台湾人、インド人、などさまざまな国の留学生が所属しております。授業は、どの国の人も積極的に質問したり、意見を述べたりするのでとても活気に溢れていて日本で受ける授業とはまったく異なります。そのため、授業の雰囲気の手助けもあり、私も日本にいるころよりも積極的に発言や質問ができています。これは、その場で問題解決ができるのでわかりづらい情報などで混乱することがなく、無駄に時間を消費することを防いでいます。

インターンシップ(Nissin Brake Ohio)

大学の新学期と同時に Nissin Brake Ohio でのインターンシップも始まりました。今までの奨学生とスケジュールが異なり、今年度は週2日(火曜日、木曜日)に朝7:30から夕方16:00までフルタイムで実習させていただくことになりました。これは私達の上司である機械系エンジニアの Jerry さんの勤務時間と同じです。Jerry さんが工場内で1日にどのような業務を、どのような流れでこなすのかを真横で見ることができるため、非常に勉強になります。現在、インターンシップでは、工場のさまざまなラインに入り、どのようなことが行われているかを学習しております。初めの週では、ディスクブレーキのキャリパーの検査の実習を行いました。各寸法、表面粗さ、内径などを計測して問題がないか確認する作業をアメリカ人社員とともに行いました。

今後基礎的な工場内の知識を増やしながら、プロジェクトに参加させて頂く予定です。



ブレーキキャリパーの寸法計測